

「親ごころ」で地元の受験生を応援 進路応援プロジェクト

～ニビシ醤油×市内3学校×保護者 三者協力連携で合格祈願品が誕生～

古賀市内の高等学校（古賀竟成館高等学校、玄界高等学校、古賀特別支援学校）の保護者（PTA役員）らが、古賀らしく「食」を通して高校3年生の進路を応援しようと、ニビシ醤油株式会社と連携。共同で考案した限定パッケージには、受験を控える子を持つ保護者の想いと、縁起物のだるまを採用。限定の「親ごころ」は、各学校を通じ、市内の高校3年生520人に贈呈します。

発売から40年以上続くロングセラーの味噌「里ごころ」。多くの栄養素と想いが詰まった味噌で、高校3年生を応援します。

■商品の概要等

ニビシ醤油株式会社の定番味噌「里ごころ」を文字って「親ごころ」とした限定パッケージ商品を、合格祈願品として、高校3年生（古賀竟成館183人、玄界296人、古賀特別支援学校高等部41人）に贈呈する。

味噌はニビシ醤油株式会社の提供、シールデザインはニビシ醤油と保護者が共同で考案、シール印刷代は3学校・PTAがそれぞれ負担し、ニビシ醤油株式会社・学校・保護者の三者が協力連携して作成。



■商品完成までの経緯

「頑張っている高校3年生の進路を応援したい！市内の企業と協力連携して、古賀らしい応援ができないか」古賀竟成館高等学校のPTA会長神田優彦さんの発案で、玄界高等学校と古賀特別支援学校のPTA会長に話をもちかけ、2校とも快諾。特に竟成館に電車で通う生徒は、通学路にニビシ醤油株式会社があることから、生徒にとっても身近な存在のニビシ醤油株式会社に協力を依頼。ニビシ醤油の末松繁雄社長も、「学生たちが当社の横を通っている姿を目にしている、地域の親のような気持ちで、ぜひ一緒に応援したい！」と三者の想いが一つに。

味噌は発酵食品で栄養素の宝庫。「味噌は医者いらず」と言われるように、大切な時期に、風邪等ひかないように。また、かつて戦国時代の「味噌玉」は、陣中食とされるほど戦いの時の味噌は貴重だったこともあり、進路を決める自分との闘いに「味噌」をとの想いもある。高校3年生は、多感な時期で悩むことも多いが、どんな時でも、いつでも見守っている「親」の気持ちを味噌に託して、全力で高校3年生を応援します！

【問い合わせ先】

ニビシ醤油株式会社	担当：野中	電話：092-943-2311
古賀竟成館高等学校	PTA会長 神田	電話：090-1879-2191
古賀市役所 商工政策課	担当：松永・洪田	電話：092-942-1176